

2026 年度 教会定期総会

議案・諸報告



日 時 2026 年 4 月 19 日(日) 礼拝後

会 場 日本基督教団石巻栄光教会 礼拝堂

〒986-0854 石巻市大街道北二丁目 12 番 3 号

電話 0225-22-4090

URL <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール i-eikou@tohoku.uccj.jp

2026年度教会定期総会順序・目次

開 会

①讃 美 歌 495 「しずけき祈りの」

②聖書朗読

これは、人の意志や努力ではなく、神の憐れみによるものです。（ローマの信徒への手紙9章16節）

わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。（ヨハネによる福音書10章16節）

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。（イザヤ書43章19節）

③開会祈祷

組織・議事

①組織・点呼

②開会宣言

③陪席承認

④書記選任

⑤議事順序承認

議員名簿（現住陪餐会員23名）

阿部せつ子、阿部大作、阿部雄悦、石井龍子、大林健太郎、大林友子、大和田陽子、川上灯、川上奏、川上恵、菊池ユカリ、小杉澄子、小杉大成、後藤順子、斎藤みや子、穴戸珠美子、庄司浩美、細川智代、細川富代、宮本道子、宮本約、森邦子、大和貞夫

議 案

I 2025年度教勢・教務報告の件

- | | | | |
|-------------|----------|--------|---|
| 1 現住陪餐会員 | 2 不在陪餐会員 | 3 別帳会員 | 1 |
| 4 集会統計 | | | 1 |
| 5 主な行事・活動報告 | | | 1 |
| 6 役員会報告 | | | 5 |
| 7 各部報告 | | | |
| (1) オリーブ会 | | | 6 |

II 2025年度収益事業報告・2026年度同計画の件

- | | |
|-------------------------|---|
| 1 2025年度収益事業報告 | 7 |
| 2 2026年度収益事業計画 | 8 |
| 3 2025年度会計報告並びに2026年度予算 | 8 |

III 2025年度会計決算の件

- | | |
|----------|----|
| 1 一般会計決算 | 9 |
| 2 特別会計決算 | 10 |

IV 2026年度年間計画の件

- | | |
|-------------|----|
| 1 宣教基本方針 | 12 |
| 2 標語(案) | 12 |
| 3 年間主題聖句(案) | 12 |
| 4 年間活動の方針 | 12 |
| 5 年間活動具体案 | 12 |

V 2026年度会計予算の件

- | | |
|----------|--------|
| 1 一般会計予算 | 14(15) |
|----------|--------|

VI 教区総会議員選出の件（役員会付託事項）

VII 地区総会議員選出の件（役員会付託事項）

VIII 主任担任教師招聘委員会設置の件

閉 会 祈 禱

I 2025年度 教勢・教務報告の件

- 1 現住陪餐会員 23名(±0)
- 2 不在会員 8名(±0)
- 3 別帳会員 32名(±0)
- 4 集会統計 聖日礼拝11人(-1) 早朝礼拝2人(±0) 祈りの会5人(±0)
※「祈りの会」の他は、オンラインによる参加は含んでいません。

5 主な行事・活動報告

(1) 主な行事

月	主 な 行 事 等
4月	6日 柴宿教会にて川上牧師が礼拝奉仕 12日 宮城地区総会 13日 教会定期総会 20日 イースター礼拝・墓前礼拝・ウクライナ避難者のための復活祭の祈り(会場提供) 22日 「初心に帰って聖書を読む」会 26-27日 被災地を覚えてのコンサートin神戸に参加 27日 中澤宣教師が10時半の礼拝を担当
5月	4日 教会の遠足(南三陸町「ひころの里」) 5日 石巻希望の家(ルーテル同胞教団)按手礼式に出席 9日 宮城北地区婦人会総会に参加 11日 礼拝堂で聖餐式執行 20日 日本基督教団仙台北三番丁教会の東北キリシタンツアーを催行 27-28日 東北教区総会 29日 東京で出張聖餐
6月	7日 ワイズメンズクラブ国際協会第28回東日本区大会に参加 8日 ペンテコステ礼拝・日本基督教団信夫教会130周年記念会に参加 10日 日本基督教団仙台北三番丁教会の東北キリシタンツアーを催行 14日 ワイズメンズクラブ国際協会第28回西日本区大会に参加 15日 中澤宣教師が10時半の礼拝を担当 22日 日本基督教団創立記念礼拝(石巻山城町教会と合同礼拝) 24日 「初心に帰って聖書を読む」会 30日 世界宗教者平和会議日本委員会「東京平和円卓会議」に出席(7月4日まで)
7月	6日 教会の遠足(登米市「支倉常長讃歌」) 13日 日本基督教団会津若松教会牧師就任式に出席 14日 日本基督教団教誨師会研修会に参加(15日まで) 15日 全キリスト教教誨師連絡協議会役員会に出席(16日まで) 16日 東京で出張聖餐 21日 宮城北地区信徒交流会に参加 22日 「初心に帰って聖書を読む」会 23日 いわき平和を考えるキリスト者の会に出席 27日 日本基督教団仙台東教会伝道師就任式に参加 28日 能登支援(ワイズメンズクラブと共催)に参加(30日まで)
8月	2日 ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋大会に参加(5日まで) 10日 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当 11日 「式文試行版」で礼拝(24日まで)／仙台キリスト教連合「平和祈禱会」に参加 16日 教会の遠足(仙台市博物館) 25日 同信伝道会神学協議会に参加(26日まで)

9月	9日	「初心に帰って聖書を読む」会
	10日	東京で出張聖餐／全国教誨師連盟教宗団代表者協議会に出席
	14日	礼拝堂で聖餐式執行／教会の遠足（栗原市「まきばフリースクール」）
	21日	創立記念礼拝
	23日	東京で出張聖餐式
	28日	日本基督教団石巻山城町教会牧師就任式に参加
10月	5日	柴宿教会にて礼拝奉仕
	6日	日本聖書神学校東北教区同窓会に講師として川上牧師が出席（7日まで）
	14日	「初心に帰って聖書を読む」会
	16日	東北管区教誨師会研修大会（福島大会）に出席
	19日	日本基督教団涌谷教会礼拝を川上牧師が担当
	20日	宮城北地区牧師会に出席
	25日	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北海道部大会に出席（26日まで）
	26日	10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当
11月	27日	宮城県教誨師会「只見川殉教慰霊祭」出席
	2日	永眠者記念礼拝・墓前礼拝
	8日	礼拝堂にて聖餐式執行
	19日	宮城県宗教法法人連絡協議会会員研修旅行（東京研修）に出席（20日まで）
	20日	東京で出張聖餐
	21日	宮城北地区婦人会交流会に参加
12月	25日	「初心に帰って聖書を読む」会
	5日	宮城県教誨師会・篤志面接員教会 合同研修会に出席
	7日	柴宿教会にて川上牧師が礼拝奉仕
	9日	「初心に帰って聖書を読む」会
	16日	「初心に帰って聖書を読む」会
	18日	東京で出張聖餐／世界宗教者平和会議日本委員会 能登支援会議に出席
	19日	石巻広域ワイズメンズクラブ「クリスマス礼拝」に出席
	21日	クリスマス礼拝
	26日	栗原市にて「カフェデモンク」クリスマス会に出席
1月	24日	石巻山城町教会クリスマスイブ礼拝に参加／クリスマスイブ礼拝
	29日	能登支援（ワイズメンズクラブと共催）に参加（31日まで）
	1日	仙台キリスト教連合新年礼拝に出席
	6日	「初心に帰って聖書を読む」会
	10日	宮城北地区協議会に出席
	12日	仙台東教会の佐々木玲哉牧師と気仙沼集会の小野寺清栄牧師を訪問
2月	18日	仙台宮城野教会（宮城中地区）との講壇交換礼拝
	19日	仙台キリスト教連合新年合同祈祷会に出席
	8日	日本基督教団涌谷教会の礼拝を川上牧師が担当
3月	10日	「初心に帰って聖書を読む」会
	11日	東京で出張聖餐
	22日	日本基督教団仙台東教会牧師就任式に出席
	23日	牧師休暇（28日まで）
	1日	柴宿教会にて川上牧師が礼拝奉仕
3月	3日	「初心に帰って聖書を読む」会
	6日	世界祈祷日の集会に参加
	10日	「初心に帰って聖書を読む」会
	11日	「3.11追悼礼拝と感謝のとき」を石巻広域ワイズメンズクラブと共催
	15日	10時半からの礼拝の信徒による司式を再開
	22日	柴宿教会にて伊藤義夫さんの記念会に参加

上記の他に、下記の会を川上直哉牧師が主宰し、あるいは参加しました。

「大人の教会学校」と聖餐式(毎週木曜日)、『荊冠の神学』読書会(5回)、『雅歌』読書会(4回)、キリシタン読書会(12回)、宣教論読書会(3回)、宮城刑務所教誨師活動(12回)、「フォーサイス」読書会(9回)、「聖書信仰」読書会(3回)、「スピノザ」読書会(2回)

(2) 活動報告

総括

2018年度の川上直哉牧師就任時から変わらず、「教会の維持」と「地域への牧会」を目指し、特に「新型コロナウイルス感染症」以来のオンラインの活用を心がけつつ、活動を進めた。

「地域への牧会」として、引き続き「旧クリスチャン教会の繋がり」の再建に努めた。日本基督教団仙台東教会に新しく赴任した佐々木玲哉教師と、日本基督教団鳴子教会気仙沼集会の小野寺清栄教師と読書会を開始し、また、宮城北地区の諸教会と共に日本基督教団涌谷教会の礼拝支援に参加した。そして「日本基督教団石巻栄光教会138周年記念事業」として『天上の友』所載のクリスチャン教会関係者を抜粋し、そこに「磐井クリスチャン教会」の歴史を補足して一冊にまとめたことは、成果であった。

同信伝道会のつながりの中で日本基督教団柴宿教会の礼拝の支援も継続した。「礼拝の支援」に牧師のみならず信徒も共に参加したことは、支援先にとって大きな力となったと思われる。また、2024年1月1日に発生した能登半島地震へも、同信伝道会の仲間である仙台北教会の李裕絃役員と共に赴くことができた。

また、地域における活動として、日本基督教団創立記念日に石巻山城町教会との合同礼拝を継続し、また、宮城北地区婦人会の活動にも積極的に参加した。地区とのかかわりでは、宮本役員が地区役員として選出されたことを受け、その働きを祈りをもって支えた。また教区とのかかわりでは、宮城県宗教学会連絡協議会と宮城刑務所教誨師の任務を牧師が預かり、日本基督教団と他教派・他宗教との接点としての役割を担った。そして、地区牧師会で得られた知見(具体的には塩釜東教会の新しい礼拝への取り組み)に学び、クーラーが設置されている「のあ」の部屋での礼拝を「聖餐式礼拝」として試行した。

教団教派の枠組みを超えての「地域への牧会」の活動として、韓国カトリック教会の東北殉教地巡礼の解説員として働いたこと、福者ルイス・ソテロ神父(慶長遣欧使節正使)の名誉回復のための調査、「支倉都市同盟」推進のための活動、布施辰治研究、等を進め、折々に教会で分かち合うことができたこと等は、地域に根差す歩みを進めた。

教会の立地している地域に多く在留している方々へと共に生きることもできた。まず、ムスリムの人権的危機への対応に連帯し、「土葬墓地」を巡る問題に痛みを覚えつつ、牧師がコミットメントし、そこから得られる福音の響きを礼拝へとつなげた。また、「難民」として滞在するウクライナ人のためにイースターウクライナ正教式のイースター礼拝を、礼拝堂を用いて行う事が出来た。

オンライン化の中で「福音を携えて教会を出た人々」との出会いを与えられていることから、その人々との「出張聖餐」も複数回行う事が出来た。

ワイズメンズクラブとの協働は、教会が「教会の外のクリスチャン」と連帯する実践の場となっている。とりわけ、2026年6月6日に予定されている「第29回東日本区大会」のホスト役を担うことで、全国・全世界との繋がり of 広がり に深化を感じる一年であった。また牧師はアジア太平洋地域のチャプレンを担い、そして、「ふくしまYMCA 設立準備委員会」の立ち上げにもかかわった。

「地域への牧会」と「オンライン化」は、必ずしも「教会の維持」に直接つながっていない。教会の財政はなお、検討の余地を残すものとなっている。その上で、多くの方々の、まさに献身的な奉仕・奉献によって、教会の歩みは守られ、支えられ、教会財政が「持続可能」となるまでの目標金額も明確になって来た。

以上のような活動を継続するために、諸教会の諸先生方のご助力を、多く賜った。キリスト聖協団の中澤宣教師夫妻、日本基督教団仙台宮城野教会の齋藤牧師夫妻、単立石巻祈りの家の阿部一代表、そして日本基督教団石巻山城町教会の小松牧師には、特に別して感謝を記したく思う。

通年の活動

- ①主日礼拝の継続と充実化：日曜日の礼拝は、ローズンゲンを用いた。前年度に引き続き、週報別冊を発刊し、週報に掲載しきれない情報（教会に届くお便り、牧師動静、教会関係の詳しい動向など）を発信し、皆で共有した。
- ②訪問と聖餐式：主に小杉さんのご家庭で、訪問して聖餐式を行った。また、礼拝堂での聖餐式も限定的に再開した。
- ③毎週水曜日の「み言葉と祈りの会」の継続：「読誦」「黙想」「祈祷」「観想」という古来の形式に沿って、信仰書を読み祈る時を持った。とりわけ2026年度は「解放の神学」のテキストを終えてアンドリュー・マーレーのテキストを読誦に用いて会を進めた。
- ④「キリスト教入門」と「応用読書会」：下記のように概要を整理し、展開した。

「入門」＝キリスト教の内側から学ぶ / 「応用」＝キリスト教を対象化して学ぶ

入門・初級編：「教会」を活用できるようにする。三要文の概説を、絵画や映画を用いて行う。

入門・中級編：「十字架物語」を自身の人生の鏡にできるようにする。福音書を味わい、福音書に親しむ。現在は福音書を川上牧師が訳述したものを用いている。

入門・上級編：「聖書全体」を自在に用いることができるようになる。

応用・聖書編：啓示としての聖書を分析的に学ぶ。「聖書信仰」読書会は、この課題に取り組む者となっている。

応用・歴史/実践編：啓示としての歴史と実践現場を分析的に学ぶ。「宣教論読書会」「キリシタン読書会」「フォーサイス読書会」そして「解放の神学」文献の読書会は、この課題と向き合うものとなっている。

- ⑤月1度の教誨師活動の継続：教区からの派遣として、川上直哉牧師が石巻栄光教会牧師として宮城刑務所に赴き、福音の喜びを参加者と共にした。
- ⑥施設管理業務の展開：社会福祉法人牧人会（栄光まきびと園）、NPO 法人「応援のしっぽ」、仙台YMCA・石巻広域ワイズメンズクラブ等、施設使用者の接遇と調整、並びに施設の点検と管理を川上直哉牧師が行い、必要な修繕などを実施した（詳しくは収益事業報告を参照）。
- ⑦「東北ヘルプ」との協働：教会事務所を東北ヘルプの活動のために活用し、コピー機などの機材の設置場所を提供した。また教会は東北ヘルプのコピー機を利用させていただいた（電気代は教会負担、その他は東北ヘルプ負担）。
- ⑧役員会の開催：困難な事案も多くある中、祈りの内に議論を進め、課題に取り組んだ。
- ⑨教区・地区活動への参加：宮城北地区牧師会、宮城北地区講壇交換、宮城北地区総会、宮城北地区信徒交流会、宮城北地区協議会、東北教区総会に参加し、涌谷教会礼拝・柴宿教会礼拝を川上牧師が担当した。
- ⑩県北地域・磐井郡との連帯：北上川隆起を中心とする広域の活動に、石巻広域ワイズメンズクラブや東北ヘルプなどと共に連帯し、「東北キリシタンを掘り起こすこと」「津波被災地と原子力被災地をつなげること」などに取り組んだ。また、超教派の交わりとして「訪問しての聖餐」が良い場を生み出しつつある。また、中澤宣教師が主催する「実践宣証会議」に参加し、超教派の交わりをもった。
- ⑪他宗教との連携：仏教・イスラム教等、他宗教の指導者と連携し、神の国の建設にともに取り組んだ。

(3) 課題

持続可能性を目指すこと、すなわち、財務については課題が残されている。とりわけ、「東北教区

謝儀基準最低額を支出できる財政状況」はもう少しで持続可能なものとなるが、しかし、「事業継続の可能性を確保する施設設備積み立て」が達成されるべき課題として残されている。施設を活用した地域への支援活動は、その施設維持のための積み立てを行うことによって持続可能性を確保される。そのための努力が今後開始できるように、まずは現状の持続可能性を確保しなければならない。

構築された宮城県北地域・岩手県磐井郡の連帯を活用し「地域への牧会」へとつなぐ工夫を、更に進めなければならない。「訪問・聖餐」と「ワイズメンズクラブとの協働」そして「東北キリシタン」「布施辰治」の研究等が、その糸口となっている。これを大切に育てている。

6 役員会報告

- (1) 組織 代表役員 川上直哉牧師
 役 員 石井龍子（会計）、大林健太郎（書記）、森邦子（総務）、宮本約（会計）

(2) 活動方針

2025年度教会総会の年間計画で委託された活動を誠実に実行する。

(3) 活動

役員会は12回開催され、各事案を慎重に協議し実行した。毎回、感染症対応について協議した。

(4) 主な協議事項

- | | |
|-------------|---|
| 第1回（4月13日） | 役員の役割分担について協議した。 |
| 第2回（5月25日） | 7月に行われる能登支援について、ワイズメンズクラブと共催することについて協議した。
教団創立記念日礼拝を石巻山城町教会と合同で行うことについて協議した。 |
| 第3回（6月22日） | 宮城北地区信徒交流会への参加について協議した。
川べの文庫への蔵書寄贈について報告がなされた。 |
| 第4回（7月20日） | 猛暑が続くため8月27日の聖餐式について協議した。 |
| 第5回（8月23日） | 気温30℃を超える場合は、冷房のある「のあ」の部屋で礼拝を行うことについて協議した。
礼拝堂脇灯油タンクの廃止届について協議した。 |
| 第6回（9月14日） | 「地区の日」（10月26日・地区講壇交換の日）の礼拝献金を、地区宣教共働献金として捧げることにについて協議した。 |
| 第7回（10月12日） | 永眠者記念礼拝について協議した。
旧園舎北側出入口の修繕について協議した。 |
| 第8回（11月 9日） | クリスマス礼拝・諸集会の持ち方について協議した。
12月に行われる能登支援について、ワイズメンズクラブと共催することについて協議した。 |
| 第9回（12月14日） | 宮城北地区協議会への参加について協議した。 |
| 第10回（1月11日） | クリスマス外部献金について協議した。
旧園舎の修繕並びに敷地入口の砂利敷きについて協議した。 |
| 第11回（2月15日） | 教会定期総会の日程、議事、議案書作成成分担等について協議した。 |
| 第12回（3月29日） | 教会定期総会の議案書原稿について協議した。
旧園舎の火災保険契約内容について協議した。 |

(5) まとめ

今年度も礼拝での聖餐式、お昼ご飯、茶話会などの再開を話し合い、徐々に、必要に応じて、隔月の聖餐式を開始するなど、部分的に試験的に再開してきた。感染症対策に多くの労力を注ぎました。その中で今年度も、斬新な礼拝・家庭集会等が形成され、深められ、教会の活動が活性化したことは、大きな収穫でした。また、石巻広域ワイズメンズクラブ・YMCAの活動が、石巻栄光教会を起点として様々行われるようになりました。主に感謝。

7 各部報告

(1) オリーブ会

① 年間テーマ

「み言葉を伝える一人ひとりに」

② 会員

阿部せつ子 阿部雄悦 石井龍子 大林健太郎 大和田陽子 川上恵 小杉澄子 斎藤みや子
佐藤光行 宋戸珠美子 庄司浩美 白井豊子 早坂恵理加 細川富代 森邦子 山口美紀子
渡邊邦子

③ 主な活動

- ・ 礼拝終了後の会堂の清掃とゴミの収集
- ・ 冬期間の石油ストーブへの石油補充
- ・ 毎月第1日曜日の礼拝後オリーブ会を開いている
- ・ 教会の庭の手入れと夏場の水かけ
- ・ 礼拝時のお花の準備
- ・ 教会の記念行事の食事会の準備
- ・ 誕生日カードを会員の皆様に渡すことを継続している（一言メッセージと牧師先生からのお祝いの言葉カードを添えて）
- ・ 能登支援への祈りと献金
- ・ 柴宿教会の礼拝を共に守れるように参加者を募ってきた

④ 定例会

- 4月～5月 2025年の一年間の会員それぞれの思いを語りました。
- 6月 オリーブの木の剪定を森邦子さんと森清光さんで行っていただきました。
- 7月 仙台からのゲスト鈴木貞子さんと鈴木真理子さんを迎えて食事を共にしました。
- 9月 山口美紀子さんが育てた野菜を教会員の方々に購入して頂き能登支援に献金しました。
創立記念の愛餐会で、大林健太郎さんから献品いただいたお米を用いて炊き込みご飯を作り、お祝いしました。
武田さんが活動している牧場フリースクール（大崎市）の見学に参加しました。
- 11月 永眠者記念の墓前礼拝後にチキンライスを作り食事を共にしました
- 12月 クリスマスの祝会で、カレーライスとフルーツヨーグルトを作ってお祝いしました。
牧師家族にクリスマスプレゼントを用意して渡しました。
クリスマス礼拝を共に守られた方々に、教会学校で使われている御言葉カードをプレゼントしました。
イブ礼拝後のお茶会に、森邦子さんお手製のバウンドケーキを頂きました。
- 2月 宮本晃祐先生召天を偲ぶカード作成を渡邊邦子さんが作成中。
- 3月 宮城北地区婦人会の世界祈禱日の集会（於：涌谷教会）に参加しました。
ワイズメンズクラブ主催の3.11礼拝に、礼拝堂の掃除という形で協力しました。

⑤ 1年を振り返って

川上牧師の牧会活動に会員それぞれが参加し、地域の方々との交流を共にしています。
コロナウイルス感染症が続く日々をこの一年も過ごしていますが、少しずつながらも礼拝後のお茶会をもち、初めて礼拝に参加された方々とも楽しい時間をもつこと出来ています。
自然災害、原発事故、戦争など、被災された方々、苦しんでいる方々の思いに寄り添い、礼拝と祈りをもって会員一人一人が歩み出せますように、神様に求め祈りあいましょう。

⑥2026年度の年間テーマ

「御言葉を教えてもらう人は、教えてくれる人と持ち物をすべて分かち合いなさい。思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から永遠の命を刈り取ります。たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取ることになります。ですから、今、時のある間に、すべての人に対して、特に信仰によって家族になった人々に対して、善を行いましょう。」（ガラテヤの信徒への手紙 第6章 6～10節）

⑦2025年度会計決算報告並びに2026年度予算案

収入	2025 年度予算	2025 年度決算	2026 年度予算
前年度繰越金	75,968	75,968	55,059
昼食代	45,000	0	0
会費	18,000	14,300	14,400
献金	0	9,900	0
ゆうちょ利息	0	99	0
合計	138,968	100,267	69,459

支出	2025 年度予算	2025 年度決算	2026 年度予算
昼食材料費	45,000	0	0
お茶・掃除シート	5,000	0	0
バースデイカード代	2,000	3,810	4,000
クリスマス祝会代・祝会用カップ代	7,000	1,700	5,000
クリスマスプレゼント代・マスコット材料代	17,000	7,411	10,000
永眠者記念会	0	2,287	0
礼拝堂お花代	2,000	0	2,000
園芸用品	5,000	0	0
光熱用水費	30,000	30,000	30,000
地区婦人会出席補助	2,000	0	2,000
予備費	23,968		16,459
次年度繰越金		55,059	
合計	138,968	100,267	69,459

Ⅱ 2025年度収益事業報告・2026年度同計画の件

1 2025年度収益事業報告

2018年3月に閉園した栄光幼稚園の園舎を活用し、2018年4月から児童福祉支援サービスを提供する「栄光まきびと園」が事業を開始した。しかしそのために大規模工事が必要であることが判明し、2018年度中にその計画を立て、2019年度まで実行した。2020年度は新しい施設を十全に活用する最初の年となり、2025年度まで、その展開を見守った。

園舎および園庭は大規模工事を経てもなお、半世紀近く前に整備されたところが残されている。雨天時の園庭のぬかるみや、雨漏り等、改善すべき箇所を確認し対応してきた。特に、公益事業への協力を惜しまない「株式会社 高橋工務店」が施設改善に尽力してくださり、時間をかけて施設改善に取り組んできた。また、半世紀前には問題とならなかった設備に、現代では法令上の問題が指摘されるものが見つかり、消防署と連絡を取り合い、その速やかな対応を行った。

以上のようなハード面での対応を進めつつ、「被災地に生きる教会」という視点から、下記2点を基本的な考え方として、栄光まきびと園以外の団体への場所提供も実施し、施設の共用に伴う諸調整を行った。

1. 幼稚園舎として活用してきた建物を、被災地で活動する被災者支援・教育・福祉団体に有償で貸し出す。
2. 被災地で活動する被災者支援・教育・福祉団体の持続可能性を高めるために、可能な限り廉価で貸し出すこととする。

具体的には、NPO法人「応援のしっぽ」と公益財団法人 仙台YMCA、県立石巻好文館高等学校吹奏楽部に教会の施設を用いていただいている。これら諸団体の活動と栄光まきびと園の活動が齟齬をきたさないように努めている。

2 2026年度収益事業計画

- (1) 教会規則に定められた目的達成のために、下記団体を対象に引き続き不動産賃貸事業を行う。
 - ・栄光まきびと園（社会福祉法人牧人会）
 - ・NPO法人「応援のしっぽ」
 - ・公益財団法人 仙台YMCA
 - ・その他
- (2) この事業に係る会計は特別会計として適正に処理する。会計年度は毎年4月に開始し翌年3月までとする。
- (3) この事業によって生じた収益は一般会計に繰入れる。
- (4) 施設管理者として川上直哉牧師を雇用し、管理者報酬として月額40,000円を支給する。また、賞与として、7月と12月にそれぞれ40,000円を支給する。
- (5) その他必要な事項は別に定める。

3 2025年度収益事業会計決算 並びに 2026年度収益事業会計予算の件

収入

(単位 円)

科 目	2025予算	2025決算	2026予算	備考
賃貸料	2,808,000	2,808,000	2,808,000	栄光まきびと園、応援のしっぽ、YMCA
雑収入	0	0	0	
税法上の収入	2,808,000	2,808,000	2,808,000	
事業区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	2,808,000	2,808,000	2,808,000	

支出

科 目	2025予算	2025決算	2026予算	備考
役員報酬	360,000	360,000	560,000	施設管理者手当
通信費	32,000	31,095	32,000	火災通報装置通信費
水道光熱費	100,000	79,134	90,000	共用部分電気代・水道代
修繕費	210,000	82,500	120,000	消防設備点検、窓枠雨樋修繕
保険料	42,000	42,000	100,800	建物火災保険
租税公課	65,000	62,600	63,000	固定資産税
支払手数料	2,000	660	800	振込手数料
雑費	2,000	0	400	消耗品等
支払い報酬	50,000	50,000	50,000	税理士報酬
税法上の支出	863,000	707,989	1,017,000	
法人税等	240,000	233,700	241,000	法人事業税、法人住民税等
附属設備	0	0	0	
法人会計繰入	1,705,000	1,866,311	1,550,000	一般会計に繰入れ
支出合計	2,808,000	2,808,000	2,808,000	

Ⅲ 2025年度会計決算の件

1 一般会計決算報告

収入の部

(単位 円)

	科 目	予算	決算	差引	摘 要
経常収入	月定献金	2,000,000	1,923,000	△ 77,000	
	礼拝献金	900,000	920,493	20,493	
	感謝・記念献金	700,000	644,677	△ 55,323	
	雑収入	10,526	21,622	11,096	原子力立地給付金、利息ほか
	収益会計繰入	1,705,000	1,866,311	161,311	
	経常収入合計	5,315,526	5,376,103	60,577	
経常外収入	対外指定献金	20,000	74,415	54,415	教区宣教共働、隠退教師を支える、能登支援
	教区援助金	0	957,100	957,100	教区より会堂整備補助
	繰入金収入	0	0	0	
	前年度繰越金	608,174	608,174	0	
	臨時収入		80,000	80,000	地区より災害時活動基金
	経常外収入合計	628,174	1,719,689	1,091,515	
収入総計		5,943,700	7,095,792	1,152,092	

支出の部

	科 目	予算	決算	差引	摘 要
経常支出	礼典費	2,000	1,080	△ 920	
	伝道費	120,000	84,631	△ 35,369	
	集会費	10,000	21,752	11,752	
	教師謝儀	3,910,000	3,857,960	△ 52,040	社会保険料、説教謝礼を含む
	建物費	82,000	104,295	22,295	火災保険料(牧師館・礼拝堂)ほか
	光熱用水費	500,000	476,395	△ 23,605	
	事務通信費	110,000	99,118	△ 10,882	
	旅費研修費	50,000	24,228	△ 25,772	
	雑費	6,000	0	△ 6,000	
	経常支出合計	4,790,000	4,669,459	△ 120,541	
	対外献金	35,000	169,415	134,415	※下記参照
経常外支出	教区負担金	167,000	167,000	0	
	互助分担金	42,000	42,000	0	
	地区負担金	12,000	12,000	0	
	退職年金掛金	288,000	288,000	0	
	退職金積立	300,000	300,000	0	
	臨時費支出		957,100	957,100	会堂整備会計へ繰入
	予備費	309,700		△ 309,700	
	経常外支出合計	1,153,700	1,935,515	781,815	
支出総計		5,943,700	6,604,974	661,274	

次年度繰越金		490,818		
--------	--	---------	--	--

※対外献金内訳

エマオ維持 ¥5,000、エマオWeb ¥10,000

教区宣教共働(ペンテコステ献金)¥26,115、地区宣教共働(地区の日献金)¥21,000

能登支援献金(指定献金)¥27,300、能登ボランティア活動補助(地区災害活動基金より)¥80,000

2 特別会計決算報告

教会資金

年月日	摘要	備考	収入	支出	残高
2025/4/1	前年度より繰越		1,484,035		1,484,035
2025/11/9	会堂整備会計から繰入れ		1,008,745		2,492,780
---	会堂整備献金(8件)	一括記載	19,000		2,511,780
年度末残高					2,511,780

会堂整備

年月日	摘要	備考	収入	支出	残高
2025/9/3	教区宣教共働会計より会堂整備補助		957,100		957,100
---	内部献金(13件)	一括記載	36,000		993,100
---	外部献金(3件)	一括記載	16,000		1,009,100
---	振込手数料(2件)	一括記載		355	1,008,745
2025/11/9	教会資金会計に繰入れ			1,008,745	0
年度末残高					0

※会堂整備会計は2025/11/9をもって閉じ、以降の会堂整備献金は教会資金会計に算入する。

新規事業支援献金

年月日	摘要	備考	収入	支出	残高
2025/4/1	前年度より繰越		2,109,420		2,109,420
---	支援献金(43件)	一括記載	238,050		2,347,470
---	振込手数料(21件)	一括記載		4,260	2,343,210
年度末残高					2,343,210

イースター・夏期・クリスマス献金

年月日	摘要	備考	収入	支出	残高
2025/4/1	前年度から繰越		234,851		234,851
2025/4/14	振込手数料(1件)			152	234,699
2025/4/30	社会保険料事業者負担分払戻し	2024年度分	585		235,284
---	2025年イースター献金(13件)	一括記載	62,250		297,534
---	夏期献金(18件)	一括記載	227,250		524,784
2025/8/1	牧師夏期手当			300,000	224,784
2025/9/30	夏期手当社会保険料事業者負担分			46,080	178,704
---	クリスマス献金(25件)	一括記載	344,750		523,454
2025/12/21	クリスマス献金(渋谷教会)		200,000		723,454
2025/12/22	牧師冬期手当			450,000	273,454
2026/1/21	クリスマス外部献金(4件) ※	一括記載		12,000	261,454
2026/3/2	冬期手当社会保険料事業者負担分			69,121	192,333
---	2026年イースター献金(3件)	一括記載	25,000		217,333
年度末残高					217,333

※クリスマス外部献金先 牧人会後援会、放射能問題対策支援室いずみ、東北ヘルプ、サクラハウス

退職金積立

年月日	摘要	備考	収入	支出	残高
2025/4/1	前年度より繰越		2,100,000		2,100,000
2026/1/21	退職金積立		300,000		2,400,000
年度末残高					2,400,000

特別会計残高総計					7,472,323
----------	--	--	--	--	-----------

新規事業支援献金・会堂整備献金をお送りいただいた方々・団体（太字＝2025年度分）（順不同・敬称略）

The Community Church、相澤邦彦・美恵子（仙台市）、愛知教会、青森教会、明石ベテル教会、尼崎教会、有吉光寛（福岡市）、安中教会、五十嵐静男さんご遺族、生島幹也（高槻市）、池田五月山教会、**石川宣道**（室蘭市）、石巻山城町教会、和泉教会、板橋泉伝道所、居谷教子（所沢市）、**市川三本松教会**、いなみチャペル 岡本なつえ、乾言子、今治教会、岩河敏宏（和光市）、岩沼教会、岩見沢教会、**岩見沢教会ナルド会**、馬見労祷教会、栄光の福音キリスト教団倉敷教会 小松原勇、応援のしっぽ、大分教会、大江野の花教会、大阪福島教会、**大谷尚子**（調布市）、大船教会、大宮教会、大宮前教会、日本ルーテル大牟田教会、小笠原純（高槻市）、岡野華（東京都大田区）、岡本宣雄・梶原直美、岡山教会、隠岐教会、**荻原邦子**（神戸市須磨区）、尾道久保教会、日本キリスト教会帯広教会、帯広聖公会、改革派福島伝道所 細田眞、柿の木坂教会、笠岡教会、交野教会、葛飾中央教会 加藤信哉、加藤望（広島市）、金指崇（八王子市）、金沢教会、鎌倉雪ノ下教会、上板橋キリスト教会 石島弘憲、上山教会、上山教会 中村正俊、亀戸教会、仮屋キリストの教会、刈谷知立教会、**軽井沢追分教会**、川上純平（青森県）、日本バプテスト同盟関東学院教会、**鴈平恵美子**（松島町）、**菊田秀子**、菊地弘生、北柏めぐみ教会、喜多方教会、北川美香（西宮市）、北須磨教会、木村葉子（練馬区）、共生型ケアを考える会、経堂北教会、京都教会、京都葵教会、京都桂教会（熊谷沙蘭）、京都上桂伝道所、京都世光教会、京都丸太町教会、行人坂教会、金必順（堺市）、銀座教会、金城教会、錦林教会、**栗田英昭**（多摩市）、神戸栄光教会、神戸国際キリスト教会 岩村義雄、光明園家族教会、香櫨園教会、越谷教会付属越谷幼稚園 小西望・英子（大阪市）、小林義春（石巻市）、小林幸子（日本聖公会東京聖三一教会）、堺教会、日本ナザレン教団嵯峨キリスト教会、札幌教会、佐藤孝子（四條畷市）、三愛キリスト教会、潮江教会、塩釜東教会、静岡草深教会、四ノ宮英記（室蘭聖書教会）、渋谷教会、島しづ子（名古屋市）、島松伝道所、**清水弘一**（仙台市青葉区旭ヶ丘）、下関教会、忍ヶ丘キリスト教会、シャロームバイブルハウス 佐々木忠彦、シャローム武庫川キリスト教会、主イエスキリスト教会 大久保みどり、夙川東教会、**首里教会**、首里教会教会学校、頌栄教会、城西教会、城西教会 飯島隆輔、湘南教会 加藤篤子、常磐教会、**新得教会**、杉並教会、須磨教会、須磨教会華の集い、膳所教会、世田谷平安教会、仙台川平教会、**仙台北教会**、仙台北三番丁教会、千里丘教会、草加教会、代田教会、高槻教会、**高の原教会**、高橋恒子（笠岡教会）、田尻教会、多田より子（東塩釜教会）、館林聖ルカルーテル教会、玉崎泉（尾道市）、茅ヶ崎堤伝道所、千葉教会、千葉ニュータウンバプテスト教会、千葉本町教会、千代田教会、月本昭男（八王子市）、つばめさわキリスト教会、鶴川教会、**田園江田教会**、田園調布教会、天満教会、東京シオン教会、東京羽田キリスト教会 岡野華、東京府中教会 北村智史、十日町教会、徳島インマヌエル教会、所沢みくに教会、土佐教会、鳥取教会、登米教会、豊沢教会、長岡教会、名古屋中央教会、名古屋中村教会、**奈良いずみ**（京都市）、鳴子教会、南部正光（大崎市鳴子）、新居浜グレース教会、西片町教会、**西神戸教会**、**西千葉教会**、西堀俊和・和子（浜松市）、野中稔（藤沢市）、野牧一弘（京都市）、**支倉紀正**（仙台市青葉区）、**早坂まゆみ**（仙台市青葉区）、原宿教会、原町教会、はりま平安教会、**東所沢教会**、東村山教会、氷川福音キリスト教会、彦根教会、美唄教会、ひばりが丘教会、平井孝次郎（石巻市）、広小路教会、広島南部教会、広島福音教会、広田正之（世田谷区）、**福音の園 杉澤卓巳**、福岡教会 土井栄子、富士吉田キリストの教会、布田秀治、ブレッシングチャーチインターナショナル、細川富代・智代（石巻栄光教会）、細田あゆみ（千葉県柏市）、**前橋教会**、蒔田教会、牧甫（新宿区中落合）、松丘聖生教会 神子澤悦子、松代教会、松戸教会、**松原弘和**（一宮市）、**松山教会**、松山古町教会、真庭洋・妙子（仙台市青葉区川平）、三重教会、三上三香（茅ヶ崎市）、溝の口教会、水戸教会、翠ヶ丘教会、緑野教会、箕面教会、宮古島伝道所、宮古聖ヤコブ教会、宮崎誉（埼玉県）、三次教会、**むさし小山教会**、武蔵野扶桑教会、室蘭聖書教会、**門間清**（大崎市）、焼山キリスト教会、**ヤシロユウ**、**安田正人**（文京区本郷）、矢吹教会、**山河正信**（八千代市）、山口信枝（北本市）、大和キリスト教会、弓町本郷教会、横須賀教会、横手教会 戸井田栄、横浜菊名教会、横浜キリスト教会、横浜シオンキリスト教会、吉田恵理子（川越市）、**吉田伸**（八尾市）、吉持志保（北九州市）、四街道教会、洛南教会、洛陽教会青年会、霊南坂教会、六角橋教会 加山真路、若柳日本キリスト教会、涌谷教会、早稲田教会、匿名（新潟県佐渡市）

参考資料 流動資産（現預金）目録 2026年3月31日現在

口座等	口座番号	金額	内 訳		
			一般会計	特別会計	預り金・未払金
ゆうちょ普通預金	18130-13068521	2,761,860	429,614	2,263,976	68,270
七十七普通預金	石巻支店 5639026	1,780,562	0	1,780,562	0
石巻信金普通預金	大街道支店 0018833	1,494,969	0	1,494,969	0
ゆうちょ振替口座	02280-8-2810	932,816	0	932,816	0
ゆうちょ定期預金	18130-13068521	1,000,000	0	1,000,000	0
現金		61,204	61,204	0	0
合 計		8,031,411	490,818	7,472,323	68,270

IV 2026年度年間計画の件

1 宣教基本方針

宣教基本方針（毎月第一聖日の礼拝で朗読）

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。

(2019 年度教会定期総会にて改訂)

2 標語（案）

『これは、人の意志や努力ではなく、神の憐れみによるものです。』

(ローマの信徒への手紙第9章16節)

3 年間主題聖句（案）

「見よ、新しいことをわたしは行う。 今や、それは芽生えている。」（イザヤ書43章19節）

4 年間活動の方針

(1) 引き続き「教会にしかできないこと」に専心する。

- ①具体的には、「パンを裂く」交わりを、「聖餐」により、小さく広げて行く。
- ②具体的には、全国のキリスト者とのネットワークを活性化させ、被災地での神様の御業を伝え交流を豊かにする。
 - ・そのためにも、地区・教区の活動に積極的に参加する。
 - ・そのためにも、東日本大震災への支援を受けて得られたつながりを大切に育てる。
 - ・そのためにも、宮城県北地域・岩手県磐井郡の諸教会や超教派のつながりを大切に育てる。
 - ・福音によってこそ成り立つ「諸宗教の人々との協働」を進め、また、教会があつてこそできる「教会の外にいるキリスト者」への支援を充実させる。

(2) 2027年度には財政が健全化することを目指し、「教会にできること」は何でも行う。

- ①具体的には、「持続可能性」を意識したな予算編成の模索を続ける。
- ②具体的には、「栄光まきびと園」をはじめとした「教会と連携してくださる諸活動」とのつながりを大切にする。

5 年間活動具体案

(1) 定例の予定

①月1回

「役員会」（原則として第3日曜日の午後）

総会から負託された教会の運営にかかわること一般を審議し決定する。

「フォーサイス読書会」

P. T. Forsyth の著作を翻訳し、読み合わせをする。

「キリスト教入門（初心に帰って聖書を読む会）」

「ルカによる福音書」と「マルコによる福音書」を訳述し、読み合わせる。

「キリシタン読書会」

ルイス・ソテロの伝記を読む。

「荊冠の神学」読書会

月一度、教区センター・エマオで開催する。

「教誨活動」

月一度、宮城刑務所で礼拝奉仕をし、個別面談を行う。

②毎週

「主日礼拝」……………日曜日 10時30分

「早朝礼拝」……………日曜日 7時30分

「み言葉と祈りの会」……水曜日 19時30分

「訪問聖餐」……………木曜日午前および要請に応じて

(2) 不定期の活動

「おとなの教会学校」

社会的に大きな出来事が起こった時に開催する。

「教会協議会」

総会などで議される案件について、現住陪餐会員以外の方を含む教会関係者の意見を広く交換するために開催する。

「教誨活動」「宮城県宗教法人連絡協議会」「世界宗教者平和会議」

教区などからの派遣要請を受け、諸宗教と協働して神の国の建設に取り組む。

「オリーブ会」

オリーブ会報告を参照。

「教会の遠足」

研修などを目的として、教会の外へ出かけて行く。

「訪問聖餐」

オンラインで参加する方々等を問按し、聖餐を共に囲む。

(3) 月ごとの予定

月	予 定
4 月	5 日 イースター礼拝・墓前礼拝 12 日 ウクライナ式イースター礼拝 19 日 教会定期総会 26 日 川上牧師出張（石巻栄光教会の礼拝を中澤竜生宣教師が担当） 28 日 「初心に帰って聖書を読む」会
5 月	10 日 礼拝堂での聖餐式／午後、いずみ愛泉教会での礼拝を川上牧師が担当 24 日 ペンテコステ 26～27 日 全国教誨師連盟研修大会（鹿児島大会） 東北教区総会（会場：エマオ・仙台青葉荘教会）
6 月	6 日 ワイズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会（石巻大会） 竹下静さんコンサート 7 日 10時半の礼拝を日本基督教団仙台宮城野教会 齋藤牧師が担当 13 日 ワイズメンズクラブ国際協会第29回西日本区大会（奈良大会） 14 日 10時半の礼拝を中澤宣教師が担当 20 日 宮城北地区総会（会場：石巻栄光教会） 28 日 日本基督教団創立記念礼拝
7 月	5 日 柴宿教会礼拝を川上牧師が担当 12 日 礼拝堂での聖餐式 20 日 宮城北地区信徒交流会 14～16 日 日本基督教団教誨師会／全キリスト教教誨師連絡協議会 研修大会・役員会
8 月	9 日 仙台キリスト教連合「平和祈祷集会」 7 日 浄土真宗広島学寮主催の催事（会場：広島）に川上牧師が発題者として出席 10 日 仙台キリスト教連合平和祈祷会
9 月	13 日 礼拝堂での聖餐式 20 日 教会創立記念日

10月	4日	柴宿教会礼拝を川上牧師が担当
	8日	栄光まきびと園において「すすきだ音楽隊」演奏会
11月	1日	永眠者記念礼拝・墓前礼拝
	8日	礼拝堂での聖餐式
	29日	アドベント開始
12月	25日	クリスマス
1月	9日	宮城北地区協議会
2月	10日	灰の水曜日（レント開始）
3月	28日	イースター礼拝・墓前礼拝

V 2026年度会計予算の件

次ページ

VI 教区総会議員選出の件（役員会付託事項）

選出議員：大林健太郎信徒

VII 地区総会議員選出の件（役員会付託事項）

選出議員：宮本約信徒

V 2026年度会計予算の件

1 一般会計予算

収入の部

(単位 円)

	科 目	2025予算	2025決算見込み	2026予算	摘 要
経常収入	月定献金	2,000,000	1,923,000	2,000,000	
	礼拝献金	900,000	920,493	1,000,000	
	感謝・記念献金	700,000	644,677	780,000	
	雑収入	10,526	21,622	19,182	原子力立地給付金、利息ほか
	収益会計繰入	1,705,000	1,866,311	1,550,000	
	経常収入合計	5,315,526	5,376,103	5,349,182	
経常外収入	対外指定献金	20,000	74,415	30,000	宣教共働、隠退教師を支える等
	教区援助金	0	957,100	0	
	繰入金収入	0	0	0	
	前年度繰越金	608,174	608,174	490,818	
	臨時収入		80,000		
	経常外収入合計	628,174	1,719,689	520,818	
収入総計		5,943,700	7,095,792	5,870,000	

支出の部

	科 目	2025予算	2025決算見込み	2026予算	摘 要
経常支出	礼典費	2,000	1,080	2,000	
	伝道費	120,000	84,631	110,000	
	集会費	10,000	21,752	20,000	
	教師謝儀	3,910,000	3,857,960	3,756,000	社会保険料、説教謝礼6回分を含む
	建物費	82,000	104,295	75,000	火災保険料¥62,000、修繕費
	光熱用水費	500,000	476,395	480,000	
	事務通信費	110,000	99,118	100,000	
	旅費研修費	50,000	24,228	25,000	
	雑費	6,000	0	5,000	
	経常支出合計	4,790,000	4,669,459	4,573,000	
経常外支出	対外献金	35,000	169,415	45,000	エマオ維持、エマオWeb、対外指定
	教区負担金	167,000	167,000	205,000	
	互助分担金	42,000	42,000	42,000	
	地区負担金	12,000	12,000	17,000	
	退職年金掛金	288,000	288,000	288,000	
	退職金積立	300,000	300,000	300,000	
	臨時費支出		957,100		
	予備費	309,700		400,000	
	経常外支出合計	1,153,700	1,935,515	1,297,000	
支出総計		5,943,700	6,604,974	5,870,000	

次年度繰越金		490,818		
--------	--	---------	--	--